



学校だより 第1号 令和6年4月8日 足利市立毛野小学校 児童数 419名



~『子どもと教師が共に楽しく学ぶ学校』 を目指して~

今年は、桜の開花が4月となり、新学期の始まりを祝ってくれているかのようです。お子さまの 進級、入学おめでとうございます。

本校の伝統である『共励』の精神「共に学び合い・喜び合い・励まし合おう」のもと、 子どもたちの健やかなる成長のため、全教職員が一致団結し「チーム毛野小」として 取り組んでいきます。

今年度も、ご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

【教育目標(目指す子ども像)】

- 毛野の子は やさしい心とたくましさ -
- 進んで学ぶ子ども・・・・・・・《 思考・判断・理解 等》
 - 学校課題「学び合い高め合う子どもの育成」-
 - ・基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。
 - ・自ら学び、自ら考える、などの資質や能力を全教育活動を通して育成する。
 - ・タブレットを使い、学習に効果的に活用できるようにする。(GIGAスクール構想)
- 思いやりのある子ども・・・・・・《 親切・協力・礼節・勤労 等》
 - ・集団生活を基盤とする体験活動を通して豊かな感性と思いやりの心を育てる。
 - ・人、社会、自然との関わりを通して共に生きる心情や態度を育てる。。
- ねばり強い子ども・・・・・《健康・安全、体力、精神力 等》
 - ・基礎体力や基本的な技能を身につける。
 - ・最後までやり抜く精神力を養う。

新学期 児童に向けての校長あいさつより(要旨)

令和6年度が始まりました。児童のみなさんは、一つ学年が上がりました。 I O 日は、 入学式です。新しい1年生が入学してきます。その1年生のお手本となるように行動して ほしいと思います。毛野小学校では、「毛野の子は やさしい心とたくましさ」をスロー ガンとしています。進んで学び、友達の言葉をよく聴き、最後まであきらめずに努力して いく力を身に付けてほしいと思います。

そのためには、「凡事徹底」を大切にしてください。「凡事徹底」とは、当たり前のこと を当たり前にするということです。

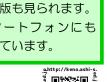
時を守る 時間を守る

場を正す 話をよく聴く

礼をつくす あいさつ、返事をしっかり行う

みんなでもっよとよい毛野小を一緒に作っていきましょう

☆ホームペーシで「共励」の カラー版も見られます。 ☆スマートフォンにも 対応しています。







💌 💆 💆 定期異動による転出者と転入者の紹介 💛 💆 💆

お世話になりました

☆岡崎佐季子 校長先生(坂西中へ校長として) ●

☆渡邊 洋 先生(御厨小へ主幹教諭として)

☆林 寿昭 先生 (三重小へ教務主任として)

☆谷 大輔 先生(佐野市植野小へ)

☆片山 清美 先生(西中へ養護教諭として)

☆大門千江子 先生(大月小へ事務長として)

☆谷口みなみ 先生(ご退職)

☆秦 雪淇(はたゆき)先生(北郷小・名草小へ) ☆ヴィクトリア ハミルトン先生(アメリカへ帰国) よろしくお願いします

☆岡部 陽一 校長先生(教育委員会より)

☆大塚 雅幹 先生(矢場川小教務主任より)

☆菊地 瑞穂 先生(北郷小養護教諭より)

☆後藤 唯 先生(小俣小事務主任より)

☆飯塚 郁弥 先生(大卒)

☆西村 砂織 先生(梁田小より)

☆橋本 龍子 先生(山辺小より)

☆関ロ ミッシェル 先生(けやき小・富田小より) ☆ストーム ポール 先生

令和6年度 教職員構成 ◎:学年主任									
年	I 組	◎内	Щ	香	2 組	山本	真唯		
2 年	I 組	◎ 金	井 夢	歩	2 組	鈴木	美敏		
3 年	I 組	© 出	井志保	子	2 組	遠藤	優斗	3 組	田崎 葉子
4 年	I 組	◎髙	木美千	代	2 組	大関	勇樹		
5 年	I 組	◎片	柳 紀	子	2 組	鈴木	弘道		
6 年	I 組	◎海	老沼哲!	史	2 組	亀田	幹人	3 組	中嶋 実樹
ひまわり	クラス	阿由葉	美希	さくら	5 組	◎栗原	三佳	さくら2組	堀川 輝良
校	長	岡部	陽一	教	頭	板東	礼子	教務主任	大塚 雅幹
通級扌	旨導	黒田小	百合	高学年	F 専科	飯塚	郁弥	養護教諭	対地 瑞穂
主	事	後藤	唯	事務	务 員	齊藤	えみ	技 能 員	吉田 栄
児童生徒相談員 川島 由美子、齊藤 友理 、嶋田 香枝									
スマイル	支援員	吉田	直美	すこと	やか支	援員 西	村 砂約	哉 、橋本	龍子
英会話教員 関ロミッシェル、ストーム ポール									



日日是好日



校庭を吹き抜ける風が、暖かく感じられます。また、少しずつ日差しも強くなってきました。 もう少しで春本番です。日によって、晴れの日もあれば雨の日もありますが、一日一日をかけ がえのない日と捉えれば、よい日も悪い日もありません。楽しいことばかり見ようとせず、辛 いことや悲しいことを受け止めながら一日一日をしっかり生きることが重要であると感じま す。

毛野小学校では、お子さんが「できたか」「できなかったか」ではなく、「伸びたか」「伸びなかったか」を大切にしてまいります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、本校の教育につきまして、ご理解・ご支援をどうぞ宜しくお願いいたします。